

金融と経済を考える 高校生小論文コンクール

第20回

金融広報中央委員会は
全国の高校生・高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を
募集しています。
みなさんがふだん考えていること、
調べたことなどをまとめてご応募ください。



特選5編

賞状と奨学金5万円

金融担当大臣賞
文部科学大臣賞
日本銀行総裁賞

全国公民科・社会科教育研究会会長賞
金融広報中央委員会会長賞

秀作5編

賞状と奨学金3万円

佳作10編

賞状と図書カード6千円分

学校賞5校

特選受賞者
在籍校

賞状と図書カード1万円分

9月15日しめきり!! 消印有効

今年度から規定文字数を変更しました。
1,600字以上で応募可能です!



テーマは「金融や経済」に関すること。以下のテーマの中から、関心があるものを一つ選択し、高校生としての自分の意見や主張を小論文スタイルで表現してください。

- ① よりよい社会・人生を築く！ 私のお金の活かし方
- ② 経済社会の課題解決に向けて！ 私が期待する金融・起業の役割
- ③ 成年年齢 18 歳！ 自立するために必要なこと
- ④ 上記以外の金融・経済に関するテーマ

題名(作品タイトル)は自由です。作品の内容に相応しいものをつけてください。

テーマを選ぶ時の参考として、右記に例を示します。あなたの考えをまとめてみてください。

- 持続可能社会の実現に向けて 高校生の私が考える「社会のためになる投資」
- 将来の夢実現 高校生の私が考える「活きたお金の使い方」
- キャッシュレス社会を生きる 「見えないお金」の便利さと怖さについて考える
- 私が社長になったなら 高校生の私が考える地域を元気にするビジネス
- オトナの自覚 社会に出る前に考えておきたい「お金」のこと
- 「未成年者取消権」喪失 高校生の私が考える悪質商法撃退策

第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金3万円)

●佳作 10編(賞状と図書カード6千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2022年9月15日(木)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2022.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2022.jp/>



先生向け

小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと

平成30年告示の学習指導要領では、論理的な文章を書く資質・能力の育成について、充実が図られました。その中で、社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動(自己を表現する力の向上を目的とした活動)として、小論文が挙げられています。金融・経済に関する諸課題や働くことの意味などについて、高校生が自分の事として捉え、事実関係やデータを調べて、考えたことを小論文にまとめる作業は、論理的思考力や表現力の向上にも繋がります。生徒には、自分の立場や論点を明確にして、考えを論じるよう指導してください。また、調べた事実やデータの妥当性・信頼性を吟味し、主張を支える適切な根拠を揃えるよう助言してください。なお、学校単位で応募いただく場合、作品の確認・添削は必要ございません。生徒が書かれた作品はすべてお送りください。

生徒向け

小論文の書き方(参考)

- 小論文を書くにあたって、最初に、例示するテーマの中から、関心があるものを一つ選択します。小論文の題名(タイトル)は、自由につけてください。
- 選択したテーマについて、自分の意見・主張を明確にします。
- 説得力を高めるため、理由・根拠となる客観的な事実やデータを調べてください。
- 最後に、構成(序論・本論・結論)を決めて、書き始めます。
- 事実やデータは自分の意見・主張と混ざらないように区別して書いてください。



金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から1,612点の作品が寄せられ、20点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



第19回

2021年

受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/



金融担当大臣賞

父を見て学んだ経営者の姿勢
大分県 大分東明高等学校 2年
神田 陽那さん

作品の内容 筆者の父が経営する焼き肉店はコロナ禍で厳しい時期もあった中、お弁当の販売を始め、その利益を元手に、近くの飲食店20店舗と協力し、児童養護施設へ集まった寄付金とお弁当をプレゼントする活動をスタート。その後も地域を元気づけようと活動を続けます。筆者は一生懸命な父親の姿を通して、経営者として大切なことを学びました。審査員からは「父から経営者のあるべき姿を学び、大切なことを明快にまとめている」と評価を受けました。

受賞者の声 金融担当大臣賞を受賞できたことを大変嬉しく、光栄に思っております。今回の小論文を書くにあたり、改めて父の活動を見直し、経営者の姿勢を学ぶことができました。今後は父のように、今だからこそできることを臨機応変に考え、様々なことに挑戦していきたいです。

文部科学大臣賞

ものを大切に使うということ
東京都 東京都立国際高等学校 2年
小林 晏さん

作品の内容 一つの服を何年も大事に着る父親と、次から次へと流行の服を安く買う筆者との、服に対する感覚の違いをきっかけに、現在の大量消費の問題を指摘した作品です。筆者は身近な人「服を捨てる理由」についてアンケート調査を行って分析し、問題解決には消費者自身の意識・行動の変化、またレンタルなど新しいサービスの利用が必要だと結びます。「身近な人たちの意見や自分の意見を捉え直しながら、ひとつの論旨を築き上げているところがよい」と評価されました。

受賞者の声 世界全体で大量生産・大量消費の流れができていますが、この流れから脱却するには、「ものを大切に使う」という行動の輪を広げていくが必要だと思います。私にとって、楽しい消費行動と環境保護はどちらも譲れないものなので、そのバランスが保たれた社会を実現するために、自ら行動し影響を与えられる人になりたいと思います。

日本銀行総裁賞

エシカル消費で持続可能な社会へ
東京都 東京都立国際高等学校 2年
時津 和花さん

作品の内容 日本と外国のお菓子の包装の違いから、環境保全という大きなテーマに言及した作品。以前ドイツに住んでいた筆者は、日本の煎餅を「過剰包装」と言われたことから、環境や社会、地域にとってより良い商品を選択するエシカル消費について考えるようになります。また、エシカルな取り組みを行う企業の事例を丁寧に調べました。「身近な話題から気候変動や海外の労働環境など内容に広がりがある。視野が広く論旨が明快」と評されました。

受賞者の声 私たちの身近な消費活動から意識を変えることが持続可能な社会の実現につながることを、この小論文を書く過程で知りました。今回の受賞を励みに、エシカルに暮らすために自分は何ができるのかをさらに問い続けながら生活していきたいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

消費者としての私たち
東京都 東京都立国際高等学校 2年
森川 爽来さん

作品の内容 安さやデザイン性、利便性を重視していない商品が、友人から動物実験を行っていない商品とプレゼントされたことで、その判断基準を見直します。化粧品や生活用品など身近な買物を通して、動物実験の実態、エシカル消費、フェアトレードについて知り、製品知識を正しく持つことが必要だと訴えます。「動物実験やフェアトレードに関して実践的な調査を行っていること、多面的・多角的な考察を通して高校生らしい提言になっていること」が評価されました。

受賞者の声 私たちの購入という選択はその商品が今まで通ってきた数多の人と工程を遡るように影響を与えるものだと気づかされました。グローバル化が進む中で私たちの消費者としての立場がどう変化するのか、よりよい世界にするために何ができるのか考え続けたいです。

金融広報中央委員会会長賞

寄付でつながる社会
香川県 香川県立観音寺第一高等学校 1年
台田 怜奈さん

作品の内容 コロナ禍で小遣いを使う機会が減った筆者が、使いみちの選択肢に投資よりも寄付を考え、仕組みや種類、意味などを学んでいくプロセスが書かれています。寄付の利点に、誰でも参加できること、支援が広がること、気持ちも繋がることの3点をあげ、「寄付という温かい血液が日本中に巡りもっと元気な日本になってほしい」と結んでいます。「寄付の良さを自分なりの視点で記している。身近なものとして捉えられていた」と評価されました。

受賞者の声 寄付と聞くとどこか遠い話に思っていました。小論文を書いていく中で、「一円からでも始められる」「応援したいと思う機関に投資できる」など、寄付の身近さ、利点について気づくことが出来ました。寄付のような社会・経済ともに良くする活動に参加し、より良い未来のために貢献したいです。

秀作

ビジネスにおいて大事なもの
千葉県 東邦大学付属東邦高等学校 2年
中野 莉緒さん

フェアトレードで救う児童労働
東京都 東京都立国際高等学校 2年
菊池 美秋さん

信長の資金調達と現代の日本経済
岐阜県 岐阜県立岐阜高等学校 2年
松尾 蒼太さん

小一から高三 震災十年
東京都 中央大学高等学校 3年
小野 諒介さん

私の働く意味
宮崎県 宮崎県立日南振徳高等学校 3年
岩瀧 愛莉さん

学校賞

東京都 東京都立国際高等学校
香川県 香川県立観音寺第一高等学校
大分県 大分東明高等学校

前回
審査員
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士)
中村 香織(金融庁総合政策局総合政策課総合政策管理官) 藤野 敦(文部科学省初等中等教育局視学官) 大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長)
渡邊 昌一(日本銀行情報サービス局長) 武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600~4,000字^(注)**(参考文献・出典は含みません)

 原稿用紙で書くなら	400字詰め原稿用紙 ※タテ20字×ヨコ20行 5枚目2行目以上記入	 パソコン原稿で書くなら	1行20字詰め ※1枚につき30行以内
---	--	---	------------------------

◎作品集ホームページ(<https://www.ron2022.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。(注)2023年度は、1,600~3,200字に変更する予定です。

●応募について

個人で応募する場合	<ul style="list-style-type: none">・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	<ul style="list-style-type: none">・学校宛てにお送りしています学校専用応募用紙にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ<https://www.ron2022.jp/>からダウンロードすることもできます)。・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。◎日本語に限ります。◎作品は理由を問わず返却しません。
◎入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。◎佳作の作品は公表しません。
◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

小論文を書くにあたっての注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。
- ・ご応募いただいた作品が「盗用」であると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

参考文献の明記

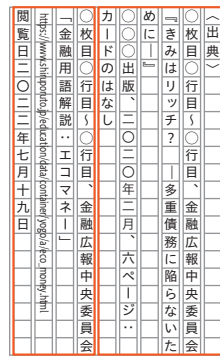
- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、小論文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。

引用するときの注意点

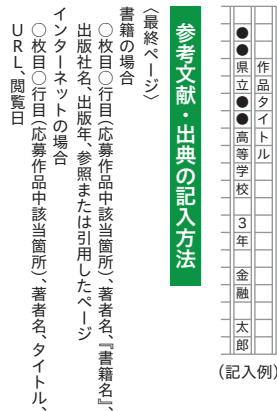
- ・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。
- ・どうしても使用したいときには、引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、小論文の最終ページに必ず出典を記載してください。
- ・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して小論文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



出典の記入例



書籍の場合
○校目○行目(応募作品中該当箇所)著者名『書籍名』出版年、参照または引用したページ
インターネットの場合
○校目○行目(応募作品中該当箇所)著者名、タイトル、URL、閲覧日



本文冒頭の記入方法

○1行目	作品タイトル
○2行目	学校名、学年、氏名
○3行目	本文

最終ページ

●県立	●高等学校	3年	金融	太郎
-----	-------	----	----	----

(記入例)

第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
学校住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡	立 学校 年
学校電話番号 () -	学校FAX番号 () -	
自宅住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡	*マンション、アパート名等も必ずご記入ください。
電話番号(日中連絡の取れる先) () -	FAX番号 () -	

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他 ()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。